

「鉄道150年を振り返り、未来を展望する」

日時：5月9日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階SMBCホール

(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、政策研究大学院大学 客員教授・名誉教授 森地 茂氏からお話を伺います。

本講では、明治から現在に至る鉄道整備の歴史と将来に向けての課題を論じます。日本は、明治維新直後から、技術も財源もない中で鉄道整備を始め、全国ネットワークを構築しました。戦後は鉄道のみならず、まちも他のインフラも、生産施設も壊滅した状態からの再整備に取り組み、復興にとどまらず、世界の奇跡と言われた高度経済成長を遂げ、新幹線や、都市鉄道、空港アクセス鉄道、国鉄民営化など世界の鉄道界を先導する政策を展開してきました。今、海外から建設のみならず、運営についても日本に期待される中、これからを担う学生たちに自国の歴史を知っておくことを期待したいです。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。



政策研究大学院大学
客員教授・名誉教授

森地 茂氏